【2000年2月2日】平成12年度における国民年金法による年金の額等の改定の特例に関する法律案について(答申)

社会保障制度審議会(第528回)

平成12年2月2日

大蔵大臣 宮澤 喜一 殿 文部大臣 中曽根 弘文 殿 厚生大臣 丹羽 雄哉 殿 農林水産大臣 玉沢 徳一郎 殿 自治大臣 保利 耕輔 殿

社会保障制度審議会 会長 宮澤 健一

平成 12 年度における国民年金法による年金の額等の 改定の特例に関する法律案について(答申)

平成 12 年 1 月 31 日厚生省発年第 6 号で諮問のあった標記の件について、本審議会の意見は下記のとおりである。

物価スライドは、年金給付額の実質価値を維持するための制度であり、本来、物価動向に則して、ルールどおり増減すべきであるが、厳しい経済社会情勢の下における年金受給者の生活の状況等にかんがみ、平成 12 年度限りの特例として、年金給付額を据え置くこともやむを得ないと考える。なお、今後も経済情勢によっては、物価が低下することも考えられるが、平成 8 年度の特例措置の際にも指摘したとおり、物価スライドのルールを確立し、年金制度に対する信頼性の向上に努めるべきである。